

HIC 通信

Vol. 114

October 2021
Hiroshima
International
Center



目次

- P2 新会長就任挨拶
- P2 ひろしま留学大使のメンバー紹介, 事前研修
- P4 県内留学生が紹介!「私の国と日本」
- P5 事業報告
交流部
広島県留學生活躍支援センター
- P8 研修部トピックス
- P9 コラム
Hello Hiroshima
イベント・講座案内
Upcoming Event News
- P10 相互理解を通して「平和」について考える
- P11 JICALレポート
こちら JICA デスク



三段峡
(安芸太田町)



新会長就任挨拶 *Inauguration greeting*



ひろしま国際センターは、幅広い国際交流・国際協力の推進を通じて世界の平和と繁栄に貢献することを目指して、広島県、県内市町村、企業・団体及び県民のいわば「オール広島」の出捐を得て平成元年1月に設立されました。

以来30年余りにわたって、当センターのミッションである外国人の住みやすい環境づくりの推進、国際社会で活躍できる人材の育成、留学生の受入・定着の促進、広島県の友好地域や開発途上国の人材育成への協力などに取り組んで参りました。

新型コロナウイルス感染拡大の勢いが止まらず、また、甚大な被害を及ぼす自然災害が多発する今日にあっては、言葉や文化、慣習の異なる外国籍県民をサポートするという当センターの役割や機動的な対応が、ますます重要になっていると考えます。

今後とも、こうした取組を着実に推進することにより、様々な国・地域の皆様が本県で活躍するとともに、県民の一員として地域に溶け込んで、安心して生活できる共生社会の実現に向けて寄与して参りたいと考えております。

引き続き、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和3年7月1日

会長 **田村 興造**

2021年

ひろしま留学大使の紹介

広島留学の魅力を留学生目線で世界に向けて発信するためのプログラム「ひろしま留学大使」のメンバー25名を紹介します！

①出身 ②大学名

KIM KYOUNGJO



- ①韓国
- ②広島大学

Hello, my name is Kyoung Jo Kim from South Korea. I'm currently studying mechanical engineering at Hiroshima University. I am so looking forward to meet a lot of new people from various backgrounds.

趙 鵬群



- ①中国
- ②広島大学

中国出身の趙鵬群と申します。今は広島大学で日本語教育を中心に研究しております。中国の留学生は留学先を選ぶ時、東京や大阪などの大都市を選びやすい傾向があります。なので、自分の発信を通して広島の魅力を多くの人に伝えていきたいと思っております。

Li Yutong



- ①中国
- ②広島大学

My name is Li Yutong and I am currently studying at Hiroshima University. I would like to communicate with others actively and introduce Hiroshima and the life of studying abroad in Japan to everyone.

Juan Diego Zamudio Padilla



- ①ペルー
- ②広島大学

My name is Juan Diego, you can call me JD, I was born in Peru and my major is economics. I love helping people. I will participate actively in activities related to Hiroshima, and create innovation projects.

葉 茜



- ①中国
- ②広島大学

私は中国の湖南省からきた留学生で、広島大学で高等教育学について勉強しております。旅行が大好きなので、広島県内の景色を写真や動画で多くの人に伝え、広島の魅力を知ってもらいたいと思っています。

馬 維維



- ①中国
- ②広島市立大学

私は馬 維維と申します。広島市立大学で国際ビジネスを専攻しています。中国山東の出身です。大使として、これから広島の魅力をもっと体験して、もっと沢山の皆様に広島の魅力を伝えようと考えています。

張 会



- ①中国
- ②広島大学

広島大学の大学院生です。趣味は旅行です。広島留学大使として、海外の人や日本国内にいる人に広島独特の魅力伝え、日本に留学したい人に自分の経験をシェアしたいです。

劉 潔



- ①中国
- ②広島市立大学

私は将来、貧困地域の子供教育へ向けたい力を入れたい。大学でNPOに関する授業をたくさん取った。広島には多くのNPOが存在していて、NPO法人の話聞いてすごく勉強になった。私も広島の魅力をもっとの人に伝えたい。

Yenny Yustisia



- ① インドネシア
- ② 広島大学

I am from Indonesia and now I study at the Graduate School of Biomedical and Health Sciences. I want to encourage the young generation, especially from Indonesia to keep dreaming and to show that there are lots of opportunities to study abroad (in Japan).

Adriani Mutmainnah



- ① インドネシア
- ② 広島大学

インドネシアのマカッサル市出身のAdri「アドリ」です。私はダイバーで、インドネシア料理を作るのが好きで、いろいろな新しいことに挑戦したり、アウトドアを楽しんだりしています。多くの誤解を避けるために、ムスリムとしての私の経験と、インドネシアの文化を紹介したいと思います。

Permana Kris Hadian



- ① インドネシア
- ② 広島大学

こんにちは。広島大学3年生のクリスです。私は広島弁が大好きです。広島に暮らして標準語で喋る日本人が少ないことに気づきました。方言は日本語の一つの魅力で、大使としてその魅力を多くの外国人に知ってもらいたいと思います。

Miriam Ilsa Arfani



- ① インドネシア
- ② 広島大学

I am from Indonesia. I am now a third-year student of Hiroshima University in the faculty of Integrated Global Studies (IGS), and my study currently focuses on Japanese culture and tourism. As an ambassador, I hope to share my experience of living in Hiroshima with more people around the world.

唐 克琪



- ① 中国
- ② 広島大学

タビ活にハマっています。たくさんの人と出会って、たくさんの人と話したいです！留学生として感じた広島のやさしさをもっと多くの人に伝えていきたいです！

DUONG THI KHANH HOA



- ① ベトナム
- ② 広島経済大学

私は広島経済大学3年生、コンティカンホアです。出身はベトナムです。広島の原爆ドームの歴史に非常に興味がありますので、写真を通してみんなに広島の魅力を伝えたいと思います。

Jant Cres Caigoy



- ① フィリピン
- ② 広島大学

I'm a PhD student studying food microbiology. I want to experience and share the Japanese culture especially here in Hiroshima. I also wanted to spread the message of peace to everyone.

李 馥岑



- ① 中国
- ② 広島大学

出身は広島市の友好都市、中国の重慶市です。「公書の語り継ぎと博物館」を研究テーマとしています。ひろしま留学大使として、ぜひ広島の魅力・広島県民の優しさを重慶や世界の人々に伝えたいと思います。

陳 麗媛



- ① 中国
- ② 広島大学

広島に来て、今年で三年目になりました。元大学で三年間日本語を勉強して、広大に来ました。これをきっかけに、自分が興味深い新しい研究分野を学べるようになりました。広島の文化や社会、歴史など、特に「平和」を他人に教えたいです。

王 儷穎



- ① 台湾
- ② 尾道市立大学

尾道市立大学経済情報学科の四年生です。尾道に来て1年半に経ちました。この美しい景色、おいしい食べ物がとても好きです。HSAAの活動を通して、広島のことをもっと知り、いろいろな国の人と友達になり、一緒に広島の魅力を発信したいと思います。

Pan Da



- ① 中国
- ② 広島大学

中国から来て、広島にもう4年以上住んでいます。今は広島大学で深層学習と地震領域についての研究を行っています。ひろしま留学大使として、自分の留学経験や広島のいいところを他の留学生に教えたいと思います。

Erin Huang



- ① USA
- ② 広島大学

I'm currently studying at IGS that is a new program offered by Hiroshima University. I want to be able to show the different sides of studying abroad in Japan other than big cities like Tokyo or Osaka.

李 勁德



- ① 台湾
- ② 尾道市立大学

出身は台湾です。今尾道に留学して三年目です。色んな風景と人達と出会って、尾道を好きになりました。なので、大使として尾道的美しさと魅力を台湾の皆に伝えたいです。

吳 佳慧



- ① 中国
- ② 広島市立大学

日本が好きです。日本の文化にも興味を持っています。文化交流の活動に参加して、もっと多くの人に広島のことを伝えたいです。

文 昕然



- ① 中国
- ② 広島大学

中国からの留学生です。カフェ巡りが大好きです。情熱をもって、広島での留学のおもしろさを全世界に広げたいと思います。

Aliyyah Nuha Faiqah binti Azman Firdaus



- ① マレーシア
- ② 広島大学

I love cat, coffee and book. Showcase the hidden gems of Hiroshima to the world. One post at a time. 🐾

Pornphan WAJJWALKU



- ① タイ
- ② 広島大学

This is my third year as an international student here in Hiroshima. As an international student who did not find this city interesting at first, I want to share the things I have experienced here, Hiroshima that I really appreciate, to others.

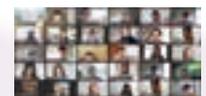
大使に任命するための事前研修を4回行いました！



防災セミナー (7月18日)



平和学習 (8月7日)



SNSセミナー (6月13日)



企業見学 (8月20日・24日)

私の国と日本



ウガンダ編

県内の留学生から母国と日本の様々な違いについて紹介してもらいます!

留学生紹介

デンベ・フランシスさん

私の名前はデンベ・フランシスです。広島県の鞆大学の1年生で、ソーシャルシステムデザイン学部で学んでいます。この記事では、私の母国であるウガンダについてご紹介したいと思います。



原爆ドーム前で

民族、言葉、食べ物

ウガンダは東アフリカの国の一つで、人口が4,400万人です。56の民族があり、43の言語が使われている多民族国家です。

例えば「おはよう」という挨拶ひとつとっても、ブガンダ民族では“Wasuze otya?” (ワスゼオチア?), アンコレ民族では“Oliire ota?” (オリレオタ?), ルエンズルル民族では“Wabukyiire?” (ワブチーレ?) のように民族によっていろいろな表現が使われています。全ての民族の共通語は公用語の英語です。

また、民族によって主食も異なります。例えばブガンダ民族では「マトケ」と呼ばれるバナナを蒸して練った食べ物を、アンコレ民族ではキビの粉で作られた「アカロ」を、ルエンズルル民族では「オブドゥ」 というキャッサバの粉から作られた物を主食としています。このように、ウガンダは民族によって言葉も食べ物も様々で、多様な文化を持つ面白い国です。



マトケ

気候、服装

日本には四季がありますが、ウガンダの季節は雨季と乾季の二つです。

一年中気温が高いので服装も日本とは異なります。地域差もあり、ブガンダ民族では伝統的な衣装の「カンズ (男性服)」や「ゴメス (女性服)」が着られています。日本の着物のようなもので、最近では主に結婚式などの特別の日



男性の服装 (カンズ)



女性の服装 (ゴメス)

に着る人が多いです。鮮やかな色が多く、デザインもとても華やかです。

気質

ウガンダ人の気質は、やはり日本人のそれとは異なります。例えば長距離バスで移動する時、隣の席に初めて会った人が座ったとします。日本人なら目的地に着くまでの間その人と言葉を交わすことはあまりないと思います。これは、他の人のプライバシーに配慮しているからであり、シャイなのかもしれません。一方、ウガンダ人の場合、「どこ行くの?」「何してるの?」など初対面とは思えないぐらいおしゃべりに花が咲くことがよくあります。ウガンダの人は誰に対しても心を開いてその時間を楽しむ傾向があるからでしょう。もう一つの例を紹介します。ある人が仕事に行こうと急いでいるとき、道で久しぶりに親戚の叔母さんに会ったとします。日本人の場合、叔母さんに簡単に挨拶をして直ぐに仕事に向かう人が多いでしょう。一方で、ウガンダ人の場合、たとえ仕事に遅れたとしても久しぶりに会った叔母さんとの会話を優先することが多いです。このようにウガンダの人は、人と繋がるのが大好きで、とてもフレンドリーな国民性を持っているのです。

ところ変われば、人も変わり、行動も考え方も変わります。みんな違うからこそ、世界は面白い! 私は留学してこのことを学びました。今、私はウガンダのことはもちろん、日本のことも理解できるようになりました。自分の視野が広がったのを実感しています。(とはいえ、私の中にはおしゃべりなウガンダ人の血が流れていて、日本でもいろんな人に平気で話しかけてしまうのですが…)

最後に

ご紹介したように、ウガンダは多様な文化を持つ面白い国です。私はこのようなウガンダのことを日本の人や世界の人、たくさんの人に知ってもらいたいです。そのため、私はフェアトレードでウガンダの魅力を伝えることに挑戦しようと思っています。大学で学んでいるコンピューター・プログラミングなどの知識を生かして、自分なりのフェアトレード・システムを作りたいです。それを使って、社会的なウガンダ人らしくたくさん発信してウガンダのことを広め、人々が交流する場を提供するのが、今の私の夢です。

交流部

Report 1 グローバルキャリアセミナー(第1回・第2回)を開催しました

グローバルキャリアセミナーは、主に広島県内の学生や青年を対象に（一般の方も参加可）、海外での仕事経験がある講師に、国際関係の仕事の体験談や、仕事に就くための秘訣を語っていただくもので、本年度第1回目のセミナーを6月27日（日）に、第2回目のセミナーを7月23日（金）にオンラインで開催しました。第1回目は国際連合人間居住計画（国連ハビタット）JPOの秋元七海さんを講師に、第2回目は国際労働機関（ILO）JPOの中富玄さんと外務省国際機関人事センターの栗原真由花さんを講師にお招きし、ご講演いただきました。広島県内だけでなく県外や海外から合わせて137名が参加されました。

講師の皆様が、ご自身の学生時代のお話や仕事の経験談を基に、参加者へ具体的なアドバイスを送ってくださり、将来の夢の実現に向けて参加者の背中を押してくれるような素晴らしい講演でした。講師の皆様、ありがとうございました。

なお、第3回目は10月24日（日）13時30分から15時まで、「国際開発コンサルタンツ」をテーマにオンラインで開催します。



交流部

Report 2 HICキッズセミナーを開催しました!

7月31日（土）に、親子で参加できる、子ども向けイベント「HICキッズセミナー～世界の国をのぞいてみよう!～」を開催しました。今回の国は、秘境の島国であるマダガスカルとパプアニューギニアでした！元JICA青年海外協力隊員である、三田崇さん、高村有紀さんをお招きし、それぞれの派遣国について紹介していただきました。

日本とは全く違う食べ物や文化、生活の様子などの話には、子どもたちは興味津々でした。また、ダンスやクイズ、塗り絵などは、子どもたちだけでなく、お父さんお母さんも一緒になって楽しんでいる様子でした。終了後、「知らない国のことが知れて面白かった」や「コロナ禍で海外に行けない今、貴重なお話が聞けてよかった」などのご意見をいただき、参加された皆さんが楽しそうに笑顔で帰っていかれたのが印象的でした。



パプアニューギニアのお話（三田さん）



マダガスカルのお話（高村さん）

交流部

Report 3 外国人留学生奨学金へのご寄附をありがとうございました

当センターでは、企業や県民の皆様からのご寄附を受けて、県内の私費外国人留学生に奨学金を支給しています。今年度は、企業等協力留学生奨学金36名、県民支援留学生奨学金2名、センター留学生奨学金4名、渡日等留学生支援に係る奨学金20名（予定含む）の計62名に奨学金を支給いたします。

奨学金支給事業は、企業・団体様、県民の皆様の温かいご支援により支えられております。ご寄附をいただきました皆様へ心より御礼申し上げます。

連続協力企業 **30年** 一般財団法人広島国際文化財団 **20年** 株式会社第一学習社、株式会社中国新聞社、広島電鉄株式会社、株式会社福屋

令和3年度 企業等協力奨学金支援企業・団体（敬称略 □数順／50音順）

マツダ株式会社	一般財団法人多山報恩会	株式会社あじかん	株式会社アスティ	株式会社ウッドワン
オタフクソース株式会社	株式会社シンギ	株式会社第一学習社	株式会社中国新聞社	中国電力株式会社
株式会社中電工	南条装備工業株式会社	西川ゴム工業株式会社	広島ガス株式会社	株式会社広島銀行
一般財団法人広島国際文化財団	広島信用金庫	広島電鉄株式会社	株式会社広島東洋カーブ	株式会社ブローパホールディングス
株式会社マツダE&T	マツダエース株式会社	マツダロジスティクス株式会社	三島食品株式会社	株式会社もみじ銀行
株式会社モルテン	医療法人社団ヤマナ会	株式会社いとや	一般社団法人 広島県医師会	国際ソロプチミスト広島
株式会社福屋	株式会社中国放送	株式会社テレビ新広島	広島テレビ放送株式会社	株式会社広島ホームテレビ

交流部

Report 4 10/31(日)に「HIC世界体験デー」を開催します!

10月31日(日)に、異文化を体験することができる「HIC世界体験デー」を開催します! 去年からスタートしたこのイベントですが、お子さまから大人の方まで、楽しんでいただける、国際交流イベントとなっています。普段はなかなか話す機会がない外国人や留学生と交流してみませんか? 外国の遊びや、その国にちなんだワークショップ、世界の音楽や踊りなどを楽しめるステージも予定しています。今年のハロウィンは、ぜひHICへお越しください!!

日時: 10月31日(日) 10:00~16:00 参加費: 無料

会場: ひろしま国際センター

※新型コロナ対策として、ご参加については事前予約制とさせていただきます。

①10:00-12:00 ②12:00-14:00 ③14:00-16:00のご都合のよい時間でお申込みください。
申し込みはこちらから → <http://u0u1.net/Y2Sv>



交流部

Report 5 11月14日(日), 27日(土)国際理解講座(オンライン)を開催します!

この講座は、主に中高生や大学生を対象に今世界で起きている様々な問題を、専門家の方から分かりやすく解説していただき、問題の本質を理解し私たちにできることは何か考えるきっかけ作りを目的としています。専門家の方から直接お話を聞けるチャンスですので、ぜひご参加ください! 参加費無料。

なお、第1回目はUNCHR駐日事務所の葛西伶さんを講師に迎え、難民問題をテーマに開催しました。

「第2回国際理解講座～パレスチナの今を知り、平和について考える」

日時 11月14日(日) 13:30~15:20

講師 ・広島市立大学国際学部 准教授 田浪亜中央氏
・国境なき医師団日本 西岡憲吾氏



田浪亜中央氏



西岡憲吾氏

申込み

QRコードまたはURL
<https://bit.ly/3l2pk82>
から



「第3回国際理解講座～ミャンマー問題(仮称)」

日時 11月27日(土) 15:30~17:20

講師 ・国際交流基金ヤンゴン日本文化センター 小西広明氏
・認定NPO法人れんげ国際ボランティア会ヤンゴン事務所
プロジェクトオフィサー 工藤絢花氏

申込み

QRコードまたはURL
<https://bit.ly/3CLJTgp>
から



詳細 今後ひろしま国際センターHPにて公開予定です。

留学生活躍支援センター

Report 6 「オンライン大学進学説明会」を開催しました!

7月24日(土)に留学生向け、8月25日(水)に教職員向けの「オンライン大学進学説明会」を行いました。新型コロナウイルス感染防止のため、Zoomを使ったオンラインでの開催は初の試みとなりました。

広島県内の大学8校が参加し、大学担当者は、国内外から参加した、大学進学を目指す留学生や、留学生を指導する日本語学校の教職員に向けて、大学紹介や入試情報・奨学金制度など、各大学の特長を説明しました。参加者のみなさんが、各々希望の大学のルームに入り、説明を熱心に聞いている姿が画面からも伝わってきました。質問も多く飛び交っていました。

オンライン開催ということで、参加者は日本国内のみならず、海外からも参加があったという効果があった反面、時差や言語の問題など課題も残る説明会となりました。

今後は、オンライン開催のノウハウを、例年行っていた会場での開催を再開した際も活かしていきたいと思えます。

今回の説明会を機に、一人でも多くの方に、広島の大学に興味を持って頂けたら嬉しいです。

参加頂いた大学の皆さま、参加者の皆さまありがとうございました。



Report 7 留学生交流事業 in 江田島を開催しました!

8月10日(火)に、江田島市沖美町にあるリゾートホテルUminos Spa & Resortにて、留学生交流イベントを行いました。総勢42名の留学生に参加していただきました。参加者の皆さんは、グループごとに分かれてBBQをしたり、ホテルの目の前にあるビーチで、SUPやカヌーなどをしたりして楽しみました。また、江田島でコミュニティスペース・フウドを運営されている為政さんにお越しいただき、江田島の魅力について紹介していただきました。

午後のワークショップでは、大柿自然環境体験学習交流館(さとうみ科学館)より西原館長に講師としてお越しいただき、海辺の生き物観察を体験させていただきました。江田島に来ることが初めての学生がほとんどで、江田島の綺麗な景色と、久しぶりの留学生同士の交流を心から楽しんでいる様子でした。コロナの影響で、なかなか交流の場が持てない学生にとって、とても良いリフレッシュの機会になったと思います。開催につきまして、ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました!



BBQの様子



ホテル前のビーチで



海岸で海の生き物さがし

Report 8 留学生と加計高校生との交流会を開催しました!

7月15日(木)、広島県内の外国人留学生9か国10名とスタッフ3名で、広島県立加計高等学校を訪問し、加計高校の生徒120名と文化交流をしました。

開会式では、学校長を始め、生徒会長やおもてなし隊の挨拶の後、留学生代表として広島大学のルイス・エルナンデスさんがお礼の挨拶をしました。また、加計高校から留学生へお土産として扇子をいただきました。

交流会では、留学生3名による母国紹介があり、パワーポイントでチリの文化紹介をしたり、漢詩の朗読やインドネシアの歌を披露したりしました。高校生からは、和太鼓演奏や綿菓子、かき氷や射的、浴衣の着付け、輪投げ、将棋、折り紙、たこ焼きなど様々な催し物で留学生をもてなしてもらいました。

最後に参加者全員で盆踊りをしました。留学生からは「パンデミックの中、このようなイベントに参加できて嬉しい。またぜひ参加したい。」との声がありました。加計高校の皆様の温かいおもてなしに感謝するとともに、参加していただいた留学生の皆様ありがとうございました。



和太鼓体験



加計高校校舎前にて

Report 9 留学生交流イベント(7/17入野きのこツアー)

『合同会社ひとむすび』とコラボし、入野きのこツアーを開催しました!参加者は広島県内の留学生23名で、内1名は英語通訳として活躍してくれました。

入野きのこセンターではマイタケの栽培方法について説明を受け、それから2グループに分かれて収穫体験をしました。収穫したマイタケはお土産としていただきました!昼食には大きなマイタケの天ぷらの乗ったうどんを食べ、マイタケを満喫しました。

その後訪れた三景園では、広くてきれいな日本庭園を散策しました。それぞれ一枚ずつベストショットを撮ってきてもらい、フォトコンテストも開催しました!あいにくの曇り空でしたが、とても楽しい庭園散策でした。

入野きのこセンターのみなさん、『ひとむすび』の皆さん、参加してくれた留学生の皆さん、通訳をしてくれた盧立達さん、どうもありがとうございました!



マイタケについてのお話



マイタケ収穫体験



三景園にて



ひろしま国際センター研修部で、今夏に実施したプログラム・取り組みをご紹介します。プログラムの実施にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止策を適切に講じています。

その1 東広島バスツアー【JICAからの受託事業】

7月4日（日）に、JICA研修員を対象に「東広島バスツアー」を開催しました。東広島市とその周辺地域のことをよく知って、日本への理解を深めるのが目的です。

まず向かったのは、市南部、海に面した安芸津町です。海風が運んでくるミネラルたっぷりの安芸津の赤じゃがいもは、牡蠣と並ぶ特産品です。長靴に履き替えて畑に入り、じゃがいも掘り開始！鋤くわを入れると、大きく育ったじゃがいもがゴロゴロと顔を出しました。

畑では、トラクターの体験も！ツアー参加者の中で唯一の女性研修員にとっては人生初の運転で、恐る恐るスタート！他の研修員に励まされて農場を一回りできました。最後は子どもたち。自分の体の何倍もあるトラクターの運転に目を輝かせていました。

午後は、広島空港の近くの三景園へ。広島県内の山、海、里の風景が凝縮された園内で、まず迎えてくれたのはたくさんの鯉たちでした。研修員がエサを与えると、色とりどりの鯉が群がりました。

「鯉を食べることはある？僕はエジプトでウサギを食べたんだ！」と自分の経験を話してくれる研修員もいました。

梅雨真っ只中のバスツアーでしたが、幸い雨傘の出番もなく終えることができました。



大きいトラクターの運転。わくわくドキドキ！



帰ってからおいしくいただきました！



たくさんお食べー

その2 とうもろこし狩り【東広島市からの受託事業】

7月25日（日）に、東広島市に住む外国人17名が「とうもろこし狩り」を体験しました。夏が旬のとうもろこしですが、今回訪れた東広島市福富町の原田農園では生でも食べられる「プラチナコーンX（かい）」という白いとうもろこしを栽培しています。

農園オーナーの原田さんから「ひげはしっかり乾燥して焦げ茶色になったもの、上の方を触ってみて実が詰まったもの、幹から離れて下に下がったものが甘くておいしいです」とおいしいとうもろこしの見分け方を教わり、参加者ひとりひとりが一生懸命おいしいとうもろこしを探しました。

原田さん一番のオススメの食べ方は「生で！」と勧められ、数名がその場で新鮮なとうもろこしを生そのままがぶり！と頬張りました。「フルーツみ

たいに甘い！」「生で食べてこんなに甘いとうもろこしは初めてです！」とびっくりした様子で、大満足の体験となりました。

「家で食べるのが楽しみです」と持ち帰ったとうもろこしは、甘くおいしく、きっと参加者は舌鼓を打ったことでしょう！



生で食べられる白いとうもろこし



とうもろこし、たくさん採りました！

Hello Hiroshima

Vol.114 October 2021



Hello Hiroshima! Aya here!

Aya
(Hiroshima Prefectural Coordinator
for International Relations)

Hello everyone, Aya here! By the time you're reading this it is probably already fall. I am envious of you, as the air is still thick with humidity as I sit here writing this article. I hope you have all been doing well!

While I usually write on lighter themes, this time I thought I would get a bit more personal. As some of you already know, my grandfather passed away in America this August.

He died peacefully from old age while surrounded by family, which I am endlessly grateful for. However, his deterioration was sped up by the pandemic, last year's isolation taking its toll, and I was unable to see him for the last two years of his life. To be honest, it was really tough being unable to give him a hug or tell him I love him in person for the last time.

Unfortunately, I think many people, particularly expats, can relate to this experience; being unable to see family or friends during this unpredictable and heavy time, when the comfort of loved ones is particularly craved. For some of you, missing the last moments of a loved one's life, or being unable to support your family or friends in person through their own grief.

These last couple of years have been steeped in uncertainty, separation, and stress for many. However, it has also been a time to bond many of us together through shared hardship, and to treasure the things, places and people that we once took for granted. In my case it has also been an opportunity to recognize my own privilege, as someone financially capable of visiting my family when the pandemic is over, unlike so many others.

If you are missing someone or have lost a loved one during this difficult time, I am so sorry. I hope you will be able to hug all the people and visit all the places and eat all the foods and smell all the smells that mean home to you, very soon.

Until then, sending you all my best wishes, and see you next time.



Upcoming

Event News



多文化共生カラフルはつかいち展

「はつかいち」は海外への移住者の多い町でした。一方、海外からの移住者も年々増加し、永住して地域の支え手となる人々もいます。今後益々積極的に外国人やマイノリティーを取り込み、カラフルで元気な町づくりに努めようとしています。是非ご覧ください。

日 10月20日(水)~24日(日) 時 10:00~18:00(24日のみ16時まで) 定 なし

場 はつかいち美術ギャラリー 費 無料

問 市民グループええじゃん 担当者: 栗林(くりばやし)

TEL: 090-6436-0200 mail: Kkurusan555@gmail.com

国際フェスタ2021 トークショー

「ざんねないきもの事典」や「わけあって絶滅しました。」等の図鑑製作者、丸山真史さんが広島にやってくる!

9月に開園50周年を迎えた安佐動物公園の方とのミニ対談も!世界の、広島の、動物のことをきいてみよう!

国際フェスタは10時~16時まで。講演の他に、様々な団体による催しがあります。

日 11月21日(日) 時 10:00開場 10:30開演 費 無料

場 広島国際会議場

問 (公財)広島平和文化センター 担当者: 国際交流・協力課

TEL: 082-242-8879 mail: internat@pcf.city.hiroshima.jp

*新型コロナウイルスの感染状況によっては、イベントが延期又は中止になる場合があります。事前に主催者に確認してください。

広島県ユニセフ協会設立15周年記念チャリティーウォーク 「平和記念公園 慰霊碑オリエンテーリング」

たまには広い公園の中をゆっくりと歩いてみませんか?クイズに答えながら平和公園の慰霊碑を巡って歩くオリエンテーリングです。前半60分は慰霊碑巡り、後半の60分は慰霊碑についての話をボランティアより聞きます。参加費はユニセフ新型コロナウイルス緊急募金として途上国の子どもたちの支援に使われます。

日 10月30日(土) 時 10:30~12:30

費 18歳以上 300円 18歳未満 無料 *全額、ユニセフ募金とします。

定 30名 場 広島平和記念公園

広島平和記念資料館本館下へ10時15分までに集合してください。

問 広島県ユニセフ協会 担当者: 高田 和美 TEL: 082-231-8855

mail: unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp

国際フェスティバル

言語や文化の違いにかかわらず、多くの市民が参加し、異文化理解が促進される様々な出展や発表等を実施するお祭りです。

日 12月4日(土) 時 10:00~16:00(予定) 定 なし

場 東広島芸術文化ホールくらら周辺 費 無料

問 東広島市市民生活課 担当者: 松井・佐々本 TEL: 082-420-0922

mail: hgh200922@city.higashihiroshima.lg.jp

相互理解を通して 「平和」について考える

Think
about
peace

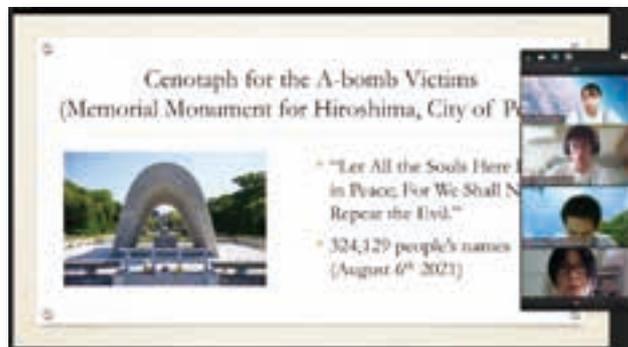


新

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、広島県を訪れる観光客は減少しています。また、これまでは毎年数多く実施されていた異文化体験、国際交流を目的とした交流イベントもその多くが中止、延期となり海外に目を向ける機会も減っています。他方でひとたび海外に目を向ければ、今まさに紛争の解決や復興、再発防止など平和な世界の実現に向けて取り組む多くの人々がいます。世界の平和はひとり、もしくは一国の取り組みだけで実現するものではなく、また異なる考えをもった人々の相互理解なしには達成し得ないものです。

コロナ禍においても視野を狭めることなく、「平和」をテーマに相互理解を深めて欲しいとの思いから8月22日（日）オンラインを活用して広島市で活動するユースピースボランティア*1と広島県内滞在中のJICA長期研修員*2の意見交換会を行いました。平和に対して強い意志をもった若者の集まりであるユースピースボランティアですが、新型コロナウイルスの感染拡大により最近では広島県への訪問者が少なく、ヒロシマの経験や自分たちの思いを伝える機会が減少しています。また同じように広島県滞在中のJICA長期研修員もコロナ禍で通常のような日本の市民・学生との触れ合いの機会が少なく自分たちの思いを伝える機会が減っています。

当日はユースピースボランティア約40名と5カ国（チリ、インドネシア、ペルー、カンボジア、南スーダン）6名のJICA研修員が参加しました。意見交換会ではユースピースボランティアからヒロシマの経験や被爆の実相を伝え、JICA長期研修員からは自国の紹介などを行い、自分たちが考える平和についての意見交換を行いました。参加者からは「平和に向けて様々な視点を持つためにも会話することの大切さを感じた」といったコメントもあり、コロナ禍でも相手を思いやり、理解しようとする気持ちは決して失ってはいけないものだということを改めて実感しました。今回はユースピースボランティアとJICA長期研修員という限られた範囲での交流でしたが、たとえ小さくとも平和で持続的な社会の構築に向けて取り組む人々の心の火を消さないよう、取り組みを続けることが大切だと再認識する機会となりました。



ユースピースボランティアから
JICA研修員に向けてヒロシマの紹介



平和の象徴ハートのポーズで記念撮影

JICA中国



※1 平和記念公園に来園する外国人向けに「ヒロシマ」の記憶を伝えるため広島市・（公財）広島平和文化センターが実施する研修を受け、ガイドを行う高校生・大学生で構成されたボランティア
※2 開発途上国から日本国内の大学院に入学し、修士/博士課程を通して、母国の開発に寄与するための総合的かつ高度な技術や知識の習得し、国造りの担い手となる人材（行政官や技術者など）

広島から世界へ! いつか世界を変える力になる!

広島から世界へ! 現在(2021年9月2日時点), 広島県出身の
JICA海外協力隊4名が世界で活躍しています!



■現在赴任中の広島県出身 JICA海外協力隊(名)

区分	男性	女性	合計
青年	2	1	3
シニア	0	0	0
日系青年	1	0	1
日系シニア	0	0	0

2021年9月2日時点

<JICA海外協力隊>

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい!」という強い意欲を持つ20歳~69歳の日本国籍を持つ方が対象のボランティア事業です。派遣は原則2年間。衣食住を現地の人とともにしながら、互いに理解を深め、同じ目線で途上国の課題解決に取り組めます。また、帰国後も現地での経験を日本の地域や世界の発展に役立てることが期待されています。そんな草の根レベルのボランティアに、あなたも参加してみませんか?



帰国隊員レポート

~ナミビア篇~

職種: 小学校教育 酒井 剛佑さん



ナミビア

アフリカ南西部に位置する共和制国家。1990年3月に独立。
【概要】面積: 824,000平方キロメートル (日本の約2.2倍)
人口: 約244.8万人 (2018年: 世銀)
首都: ウィントフック
言語: 英語 (公用語), アフリカンス語, 独語, その他部族語
宗教: キリスト教, 伝統宗教

現地での活動内容

首都のウィントフックから車で約10時間、ナミビアの北部にあるカバンゴウエスト州の「ンタラコンバインドスクール」という学校で主に理数教育の向上・改善に取り組んできました。小学校高学年の算数・理科の授業を受け持つと共に、同僚の職員への授業に関する助言や教材開発などを行っていました。また、算数のワークショップに参加し、日本における効果的な学習活動や指導方法をナミビアの教員の方に紹介することができました。



▲授業風景



▲ワークショップの様子

ナミビアってこんなところ!

国土は日本の約2倍近くありますが、人口は約240万人(日本人口の約2%)になります。ナミビアには「世界一美しい民族」と言われるヒンバ族、世界最古のナミブ砂漠、数多くの野生動物が見られるエトーシャ国立公園など、魅力や観光名所が盛り沢山です。アフリカの中でも治安は良く、フレンドリーな方が多いです。また、スポーツも盛んでサッカーやラグビーなどが人気です。今年のオリンピックでは、女子200m走でクリスティン・エムボマ選手が銀メダルを獲得しました。



▲エトーシャ国立公園



▲デッドフレイ砂漠 (ナミブ砂漠)



▲ヒンバ族

ナミビアの食事

ナミビアでは、パップを主食にして、おかずの肉や野菜(ほうれん草、マッシュポテトなど)を食べます。パップはメイズフラワー(モロコシから作られた粉)またはマハング(トウジンビエから作られた粉)をお湯で溶かしてこねた食べ物です。ナミビアではご飯の代わりとしてよく食べます。また、肉も同様に家畜である牛・豚・鶏・羊だけでなく、時にはジビエ(野生で狩猟された動物の肉)も食べます。クドウ、シマウマ、ワニ、オリックスなど、珍しい肉を食べてみたい人は是非ナミビアに来て挑戦してみるのもいいですね。



▲ナミビアの食事

酒井 剛佑さんプロフィール

・安芸郡坂町出身。広島の大学を卒業後、広島市の小学校教員として8年間勤務。2018年7月から2020年3月まで、ナミビアのカバンゴウエスト州にある「ンタラコンバインドスクール」で、理数教育の向上・改善のために活動する。

参加のきっかけ

社会人になって、私は「フィリピンの子供たちに支援物資を送る」というボランティア活動に参加しました。そこで「スモキーマウンテン」というゴミ山の中で暮らす人々の生活を見せて頂きました。また、近くの学校に物資(ノートや鉛筆など)を届けただけで、多くの子ども達が心から喜んでいました。日本との環境の違いに衝撃を受けるとともに、「助けを必要としている人の役に立ちたい」と思うようになり、JICA海外協力隊の参加を決意しました。

参加して思うこと

任地の同僚の先生方は私を温かく迎え入れ、困ったことがあればいつも助けてくれました。そんな中、私はいつしか「この学校のために返返しをしたい」と強く思うようになっていました。

私は活動を行う上で、「自分の考えを押し付けない」ということを第一に考えていました。教育に関する指導方法や学習教材の紹介などを行っていく内に、「(私の)授業を見てもいいか」「この教材を使いたい」など、興味関心を示してくれる方が徐々に現れましたが、そうではない同僚の方も多くいました。しかし、私はそのことに関して全く気にしていませんでした。彼らが「いいと思うもの」「取り組んでみたいと思うもの」でなければ、絶対に継続はしないですし、それこそ押し付けになってしまうと考えていたからです。私が二年間の活動でできたことは多くはないですが、ナミビアの教育を少しでも向上させるきっかけになってくれれば幸いです。

「グローバルリレーションズ・プログラム (GRP)」参加者の声

HIC article: Nadeem Hazzaさん (Yemen)

Hello, everyone! My name is Nadeem Hazza and I am a fresh graduate of the Faculty of Integrated Sciences for Life. I have had the pleasure of staying at Hiroshima International Plaza for about two years and I would like to share with you my most memorable experience at HIP and in Japan.

I came to Japan for my Master's degree right after completing my Bachelor's degree in Biotechnology in Egypt, just a few months before the pandemic started. I had been offered a fully-funded scholarship by JICA back home but I declined the offer and chose Hiroshima University. Ever since high school, I had wished for a chance to learn Japanese culture and language and to pursue a PhD degree in Japan. I had hoped to visit various famous landmarks such as the famous Shitennoji Castle in Osaka and the Kinkakuji (金閣寺) Palace in Kyoto. I am glad I made the right decision to study at Hiroshima University!

In the first few months in Japan, like other international students, I struggled in adjusting myself to the living conditions in Japan -- to say that I was culturally shocked would be an understatement. At first, I lived in an apartment off-campus and the distance between home and school, coupled with the new living conditions in Japan that I needed to learn and get used to, were too much to juggle around. The high-quality education at Hiroshima University was another concern as it also demanded a lot of time and effort. Without hesitation, I accepted HIP's offer for a room as I knew that staying at HIP would ease a lot of my worries and would allow me to come back home every day to a welcoming and safe environment where I would truly feel like at home. Due

to my mixed cultural background consisting of Vietnamese and Yemeni heritage, I thoroughly enjoyed the experience of meeting people from all corners of the world within the GRP group and exchanging cultural interests.

During the times of lockdown and isolation, it is unfortunate that most extracurricular activities and international events at HIP are suspended. Yet, the HIP staff are so friendly and helpful that student tenants can live as an international community and can feel reassured. Most important is the fact that the plaza is equipped with all essential facilities from open entertainment areas, the gym and the library, to washing machines and cooking rooms. Everything is available at HIP means there is no need for trips outside HIP after school.

To international students considering studying at Hiroshima University, you will not regret your decision! Like me, you will benefit the most from its high-quality education and at the same time enjoy college life in a professional environment with great professors and friendly classmates. To those considering staying at Hiroshima International Plaza, you will feel like at home! Like me, you will not need to leave HIP for dinner, doing your laundry, or printing your papers. When you come home from class, you will always be greeted with a smile and a pleasant, small talk from HIP staff. Not only is the culture every bit of polite and well-mannered as one would normally hear abroad but people are also hospitable and welcoming to foreign students.

My time in Japan thus far has truly been enjoyable and precious!



グローバルリレーションズ・プログラム (GRP) とは?

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的にした、外国人留学生のためのプログラムです。現在、9ヶ国19人の留学生が参加しています。

そのほか、レジデントアシスタントの日本人学生2名が入居し、彼らを支援しています。

★入居使用料
1泊800円 管理費2,550円/月
月額24,950円~27,350円(水道光熱費込み)

★毎年、春と秋に入居者を募集しています。募集の際には「ひろしま国際プラザ」のHPに掲載します。

留学生のみなさんへ!

「留学生による広島留学動画コンテスト」のお知らせ

留学生による「動画コンテスト」を開催しています!

日本へ留学を考えている人へ向けて、

「広島留学の魅力 (みりょく)」を発信する動画

を作り、投稿してください!

最優秀賞 (さいゆうしゅうしょう) は

なんと賞金5万円!

動画を作ることに自信がなくても大丈夫です!

応募をおまちしています!



募集テーマ

「広島に留学したくなる」動画

…(国内・海外から)留学を希望している人が見て、「広島に留学をしたい」と思ってもらえるような動画を作ってください。

賞金 最優秀賞 (1位) 50,000円 (1作品)
優秀賞 (2位) 30,000円 (1作品)
佳作 (3位) 10,000円 (5作品)

締切

2021年10月31日 (日)

応募資格

県内に住んでいる外国人留学生

応募の方法はWeb
をみてください▶

<https://bit.ly/3yU580i>



交流部&留学生生活支援センター

〒730-0037

広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F

TEL. (082) 541-3777 FAX. (082) 243-2001

E-mail/hic@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

月~金 10:00~19:00 土 9:30~18:00

日・祝日および年末年始(12/28~1/4)はお休みです。



研修部 (ひろしま国際プラザ)

〒739-0046

東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内

TEL. (082) 421-5900 FAX. (082) 421-5751

E-mail/hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

【情報センター・図書室】

月~金 10:30~12:30, 13:30~19:00

(12:30~13:30閉室)

土・祝日 10:30~19:00

※日曜および年末年始 (12/29~1/3)はお休みです。

※その他、臨時休室の場合は、HPで随時お知らせします。

※NGO交流室は休室中です。

